

令和5年度 学校経営方針

令和5年4月1日
青梅市立若草小学校
校長 濱岡明男

「豊かな学びの場 わかくさ」
やればできる！

1 はじめに

昭和53年4月（1978年4月）に開校した若草小学校は、今年度45周年を迎えます。児童数は4月1日現在で、481名（通常学級404名 わかくさ学級77名）の学校です。また、東京都で最大規模の情緒の特別支援学級（わかくさ学級 10学級11グループ）が設置されています。

若草小学校は、「豊かな学びの場」となるよう「わくわく 関わりの中で 工夫して 最後まであきらめずに継続して」の視点で様々な教育活動を展開してきました。今年度は、自尊感情・自己肯定感の高い児童の育成を目指し、自己肯定感を高める手立てを取り入れた授業改善、子供たちの主体性を育てる特別活動、音楽会の機会をとらえたミュージックイヤーの取組、ゲストティーチャーによる授業、特別支援学級との交流及び共同学習、障害理解教育など多彩な教育活動を展開していきます。

小学校での6年間の教育活動は、義務教育の3分の2を占めます。大きな岐路となる15歳の春に、自分の将来を見据えた進路選択ができるようにすることが義務教育の大きな役割だと考えます。そのためには、小学校の6年間で子供たちの将来につながる力を身に付けさせることです。主体的に課題に取り組み、克服しようとする力を育てることで、そして、その力を土台として地に足を付けて学ぶ力を身に付けさせることです。

学校や教員に求められていることは、どんな力を、どのような方法で身に付けさせていくかを分かりやすく明確にしていくことです。GIGAスクール構想を最大限に生かして情報を発信し、見える化を図っていくことが必要です。

教育の本質をしっかりと見極め、新しい時代に対応できる子供たちを育てられる学校づくりを目指し、若草小学校が「豊かな学びの場」となるよう全教職員が一丸となり、教育活動に取り組んでいきます。

2 学校教育目標

若草のように ①やさしく 強く ②新しく ③自ら伸びる 子どもになろう

人権尊重の精神を基調とし、自主性と創造性に富み、人間として調和のとれた個性豊かな児童の育成を目指し、生涯にわたる学習の基礎を培う学校教育を推進する。

【身に付けさせたい力】

① やさしく 強く

- ・相手への思いやり
- ・コミュニケーション能力
- ・心と体の調和
- ・自殺、いじめ防止

② 新しく

- ・情報活用能力（ICT機器活用能力）
- ・創造力
- ・感性
- ・キャリア教育（形成能力）

③ 自ら伸びる

- ・主体性（自分から学ぶ）
- ・学習調整能力（計画性）
- ・伝える力



思いやりの木を作成



ICT 機器活用研修（OJT 研修）

3 学校経営方針

(1) 学校づくりの合い言葉 「豊かな学びの場 わかくさ」

教育目標を実現するために「豊かな学びの場 わかくさ」を合い言葉に学級経営を進めていきます。いろいろな制約がある中で、子供たちにとって「豊かな学びの場」とは何かを考え、工夫した教育活動の中で実現を目指していきます。

「豊かな学びの場」とは、

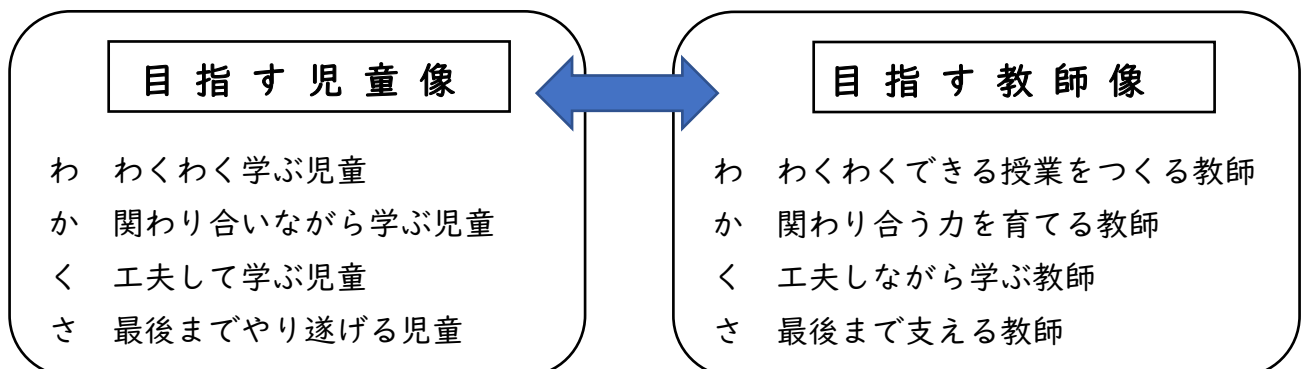
- ① 分かる、楽しい、意欲のわく授業
- ② 多様で豊かな直接体験ができる場
- ③ 個性のある子供たちが共に安心して学ぶことができる学校
- ④ 地域の教育力を学校教育に活かせる学校

と考えます。

そして、「わかくさ」の合い言葉に学習指導要領で示されている学びの姿を重ねました。

わ わくわく学ぶ	→	主体的な学び
か 関わりの中で学ぶ	→	対話的な学び
く 工夫して学ぶ	→	深い学び
さ 最後まであきらめずに継続して学ぶ	→	粘り強さ

これからは「やればできる！」を子供たちに示し、自己肯定感を高め、自己効力感を育てることを重点に教育活動を進めていきます。自分のよさに気付き、自分に自信をもって課題を解決する力を身に付けることで、子供たちが中心となり、豊かな学びの場を作っていきます。そして、社会とかかわる機会を増やすことで、これからの激動の時代を生き抜く力を身に付けさせていきます。



(2) 「豊かな学びの場」をつくるために大切にしたいこと

① 若草小学校の教育をつくる

学校全体が教育目標を実現するために、共通の考えをもとに教育活動を進めていくことが大切です。学校経営方針のもとに教育活動を展開し、一人一人が「若草小学校の教育をつくる」ということを日々の実践の中で目指していきます。

② 子供をみる

子供たちをよくみるため、「子供をみる視点 わかくさ」を基本とし、子供たちの成長を見逃さない教師を目指していきます。複数の目で一人の子供の成長を見取ることができる教師集団を形成し、情報の共有を大切にしていきます。

子供をみる視点 わかくさ

- わ 分け隔てなくみる
- か 関わりをみる
- く 詳しくみる
- さ 最後までみる

③ 学び、実践する

主体的な学び、対話的な学び、深い学びにつながる授業づくりを工夫していきます。そのために、教師自身が積極的に授業力向上を図る研修に努めていきます。得意な教科や研究している教科を互いに見合い、研鑽を積むことで授業力を高めていきます。日々の授業に生かせるものにするために、OJT研修に努め、「若草小学校学力向上推進プラン」をもとによりよい授業づくりに取り組みます。



デジタル教科書活用研修



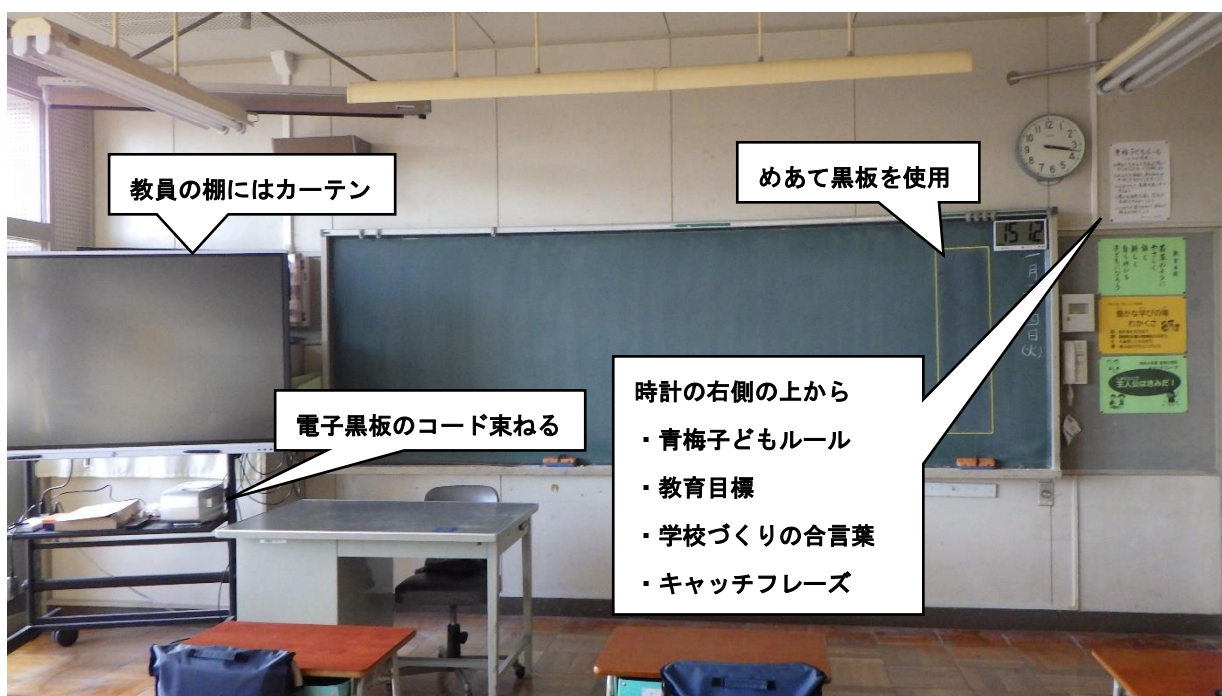
道徳授業指導技術研修

④ 教育環境を整備する

子供たちの生活の質を高められるように日々意識していきます。全教職員が率先して、きれいで整えられ、構造化された教育環境をつくります。誰もが落ち着いて学習できる環境を作っていきます。

教室環境づくり

- ・教室前方はすっきりと
- ・めあて黑板を使用
- ・教員の棚にカーテン設置
- ・クラス目標は廊下側壁面



⑤ 校務改善を進める

「働き方改革推進プラン」をもとに効率的に仕事に取り組み、教職員一人一人の心身の安定に努めていきます。データの共有化や行事の精選・短縮を図り、校務改善を進めていきます。

⑥ 教育公務員としての高い意識をもつ

体罰防止研修やサービス事故防止研修等を通し、教育公務員として高い意識をもち、日常の生活の中でよりよい行いを心掛ける。特に子供たちへの影響力を考え、気持ちのよい挨拶や言葉遣いに努めていきます。

(3) 「豊かな学びの場」を実現するための6つの重点

「豊かな学びの場」の実現に向けて、これからも若草小学校の取組の中で大切にしていきたい6つの重点を示し、特色ある教育活動を進めていきます。

① 徳 〈特別活動・たてわり班活動・道徳教育〉

豊かな人権感覚を身に付けさせるために、あらゆる偏見や差別、いじめをなくし、多様性を認められる指導を行います。また、豊かな人間関係を築ける力や情が分かる子供たちを育成するために、関わりを重視し、社会生活の基本的なルールを学び、自ら考えて相手を思いやる行動ができる機会を設定する。

② 知 〈主体的な学び・ICT教育・青梅学〉

子供たちの知的好奇心と学ぶ意欲を育て、自ら学ぶ力を身に付けさせるために、「主体的、対話的で深い学び」を考えさせると共に、より「分かる授業」を目指した一人一台の端末を活用した学び、読書を活用した学び、人や地域との関わりの中での学び、課題を見付け解決し、発信する学びを重視する。

③ 体 〈健康、体力づくり・業間体育・オリパラ教育〉

生涯にわたってよりよい健康づくり、体力づくりに取り組む力を身に付けさせるために、体育週間やオリンピック・パラリンピック教育1校1レガシーを活用し、体力の向上に向けた取組の充実を図る。

④ 芸 〈ミュージックイヤー2023〉

生活を豊かにする児童の情操を育むために、表現する楽しさを感じることが出来る機会の充実を図る。令和5年度はミュージックイヤーと位置付ける。

⑤ 特別支援教育〈交流及び共同学習・自立活動の充実〉

障害がある、ないにかかわらず安心して学ぶことができるように、またこれからの共生社会を担う人材を育てるために、障害及び障害者理解教育を進め、交流及び共同学習を推進する。

⑥ 生活指導〈挨拶・自殺、いじめ防止・教育相談体制の充実〉

児童の健全育成を図り、健康で安全に過ごす力を伸ばすために、基本的な生活習慣を身に付けさせるとともに、主体性と社会性を培う。保護者や地域、関係諸機関と連携し、個に応じたきめ細やかな教育を推進する。

(4) 「新しい生活様式」の継続

令和5年度は、平常時の日常的な活動においては、マスク着用を求めないことが原則となります。しかし、当面の間はマスク着用以外の感染拡大防止対策は継続して行います。青梅市教育委員会より示されている「新型コロナウイルス感染症対策と学校運営に関するガイドライン」をもとに、子供たちの安全を第一に状況に応じて、一人一台の端末を活用したり、ICT機器の有効利用をしたりしながら、新しい学びの形を模索し、子供たちの学びを止めないことを重点に教育活動を進めていきます。

【感染防止対策】

- ・ Google classroom を活用した健康状態の毎日の把握
- ・ 手洗いの徹底、咳エチケットの指導
- ・ 3密を避けた教育活動の実施
- ・ 換気の徹底

【児童の気持ちや成長に寄り添う指導】

- ・ 不安な気持ちを理解し、励ます
- ・ 学習の質を重視し、詰め込みすぎない
- ・ 無理のないゆったりとした計画

【学びを止めない】

- ・ 学習することの意味を考えさせ、記憶に残る授業の組み立て
- ・ 学習指導要領に示された指導事項を身に付けさせることに取り組む
- ・ 授業で取り組むことと家庭学習で取り組むことを意識した計画を立てる
- ・ 一人一台の端末を活用し、効率的に学習ができるように工夫する